

# 平成29年度 事業計画書・収支予算書

足腰の強い「健都ふくしま」を目指して  
ふるさとの元気を支えて1世紀  
～おかげさまで 平成29年 福島商工会議所創立100周年～



# 平成29年度 事業計画書・収支予算書

## 足腰の強い「健都ふくしま」を目指して

企業の活力、地域の元氣  
私たちのいちばん大切な仕事です。

### 目次

■事業計画書	
第1部 平成29年度事業の考え方と推進体制	
1. 基本理念と施策目標	2
2. 推進体制	4
第2部 施策体系と事業	
1. 事業方針	6
2. 施策体系	10
(1) 施策Ⅰ 活力ある福島の創造	12
(2) 施策Ⅱ 会員事業所の発展	14
(3) 施策Ⅲ 魅力ある商工会議所	18
第3部 部会・委員会事業	
1. 部会事業	20
2. 委員会事業	26
■収支予算書	33



### 福島商工会議所 プロフィール

設立／大正6年7月28日

※県内で1番目、全国で66番目の商工会議所として設立

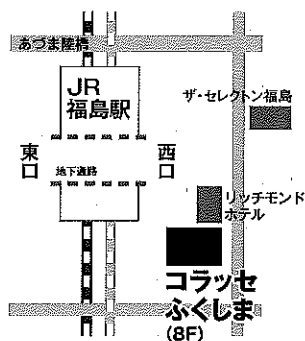
所在地／福島市三河南町1-20 コラッセふくしま8階

法的根拠／商工会議所法

※昭和28年8月1日法律第143号

会員数／4,011 (H29. 3. 17現在)

議員定数／130



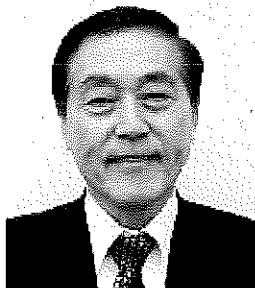
TEL 024-536-5511

福島市三河南町1-20 コラッセふくしま 8F



商工会議所マークは、商工会議所の英語名 CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY の頭文字 CCI を図案化したもので、昭和32年に日本商工会議所が全国から募集し、1等に入選した作品です。

## 1. 基本理念と施策目標



### 足腰の強い「健都ふくしま」を目指して

ふるさとの元気を支えて1世紀

～おかげさまで 平成29年 福島商工会議所創立100周年～

会頭 渡 邊 博 美

福島商工会議所は、平成29年7月28日に**創立100周年**を迎えます。

大正6年7月28日に県内で最初の商工会議所として設立されてから100年、幾多の苦難や試練に遭遇しながらも、先人の知恵とたゆまぬ努力とともに多くの方々のご支援とご協力を頂戴しながら、福島市の元気を支え続けてまいりました。

次の新しい100年を迎える節目となる今、福島市が目指すべき姿を改めて見据え、その実現に向けていかに取り組んでいくかを明確にするため、私ども福島商工会議所は昨年9月、「ふくしま将来ビジョン」を策定いたしました。

本年度はその実現に向けたスタートの年として、ビジョン目標である「**足腰の強い「健都ふくしま」を目指して**」を福島商工会議所活動の基本理念に掲げ、以下の4つの施策を中心に積極的に事業を進めてまいります。

1つ目が、**創立100周年記念事業の実施**です。

「ふるさとの元気を支えて1世紀。」を100周年記念事業のキャッチフレーズとして、「みんなで祝う」「みんなの足腰を強くする」「みんなでまちを元気にする」「みんなの記憶に留める」というテーマで、創立100周年にふさわしい各種事業を展開してまいります。

2つ目が、**ふくしま将来ビジョンに関するアクションプランの策定と実現に向けた取り組みの実施**です。10年後の福島のあるべき姿の実現に向けたアクションプランの策定と具体的な事業の推進について、福島商工会議所を挙げて進めてまいります。

3つ目が、**個社支援の強化**です。

東日本大震災より6年が経過した今日でも、長期化・複雑化している風評被害などにより、地域経済環境は未だ厳しい状況にあります。会員事業所の経営支援について、事業所の抱える経営課題の解決に向けた寄り添った支援に努めるとともに、経営発達支援計画に基づく伴走型個社支援の強化や、新規創業者に対する支援などについて、更なる充実を図ってまいります。

4つ目が、**組織・財政基盤の強化**です。

部会・委員会活動を充実するとともに、4000会員堅持のための新たな会員増強運動などを行いながら、組織・財政基盤の強化を積極的に図ってまいりたいと存じます。

福島市は、復興需要の減少に加え、人口減少など様々な課題を抱えており、まだまだ厳しい状況にあります。地方創生を実現していくためには、会員事業所の発展が最も重要であり、以上の4つの施策を中心に効果的に事業を展開し、これまで以上に**現場主義**に徹して**オール福島**で福島市の経済の発展と活性化に全力で取り組んでまいり所存であります。



## 地域経済の 活性化

まちのにぎわいを支え、未来を  
創り、福島の復興と再生を推進  
します。



### I 活力ある福島の創造

- A. 創立100周年記念事業の推進
- B. ふくしま将来ビジョンの推進
- C. 政策提言・要望活動の推進
- D. 中心市街地の活性化
- E. 広域連携の推進
- F. 観光振興と交流人口拡大の推進
- G. 地域の祭り・伝統文化の興隆
- H. 消費拡大の推進

## 企業の安定 ・成長

会員事業所の持続的発展に必要  
な事業を推進します。



### II 会員事業所の発展

- A. 小規模事業者の伴走型支援の推進
- B. 相談支援体制の充実・強化
- C. 経営革新の推進
- D. ビジネス拡大の推進
- E. 事業再生・事業承継の支援
- F. 創業の推進
- G. 人材育成事業の推進
- H. 雇用対策事業の推進
- I. 各種調査・情報提供
- J. 業種別振興事業の推進
- K. 福利厚生の実施

## 商工会議所の 活性化

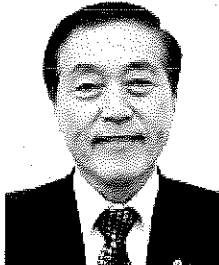
会員事業所への支援強化に必要  
な足腰の強い組織づくりを推進  
します。



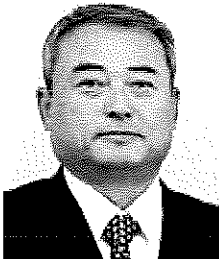
### III 魅力ある商工会議所

- A. 商工会議所の運営強化
- B. 運営基盤の強化
- C. 事務局機能の強化
- D. 情報収集力と発信力の強化

## 2. 推進体制



会 頭 **渡邊 博美**  
福島ヤクルト販売㈱ 代表取締役会長



副会頭 **菅野日出喜**  
菅野建設㈱ 代表取締役

— **担当部会** ◆工業部会、建設業部会、金融業部会

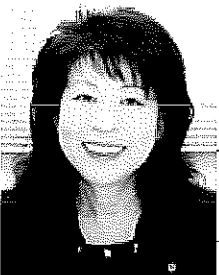
— **担当委員会** ◇総務委員会、中小企業振興委員会、創立100周年記念事業  
実行委員会



副会頭 **後藤 忠久**  
㈱後藤歯科商店 代表取締役

— **担当部会** ◆卸商業部会、小売商業部会、情報文化部会

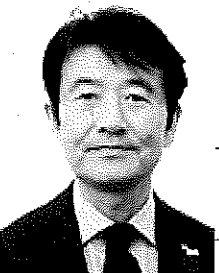
— **担当委員会** ◇復興・創生委員会、まちなかにぎわい委員会



副会頭 **和合アヤ子**  
福島県住宅生活協同組合 理事長

— **担当部会** ◆不動産業部会、庶業部会

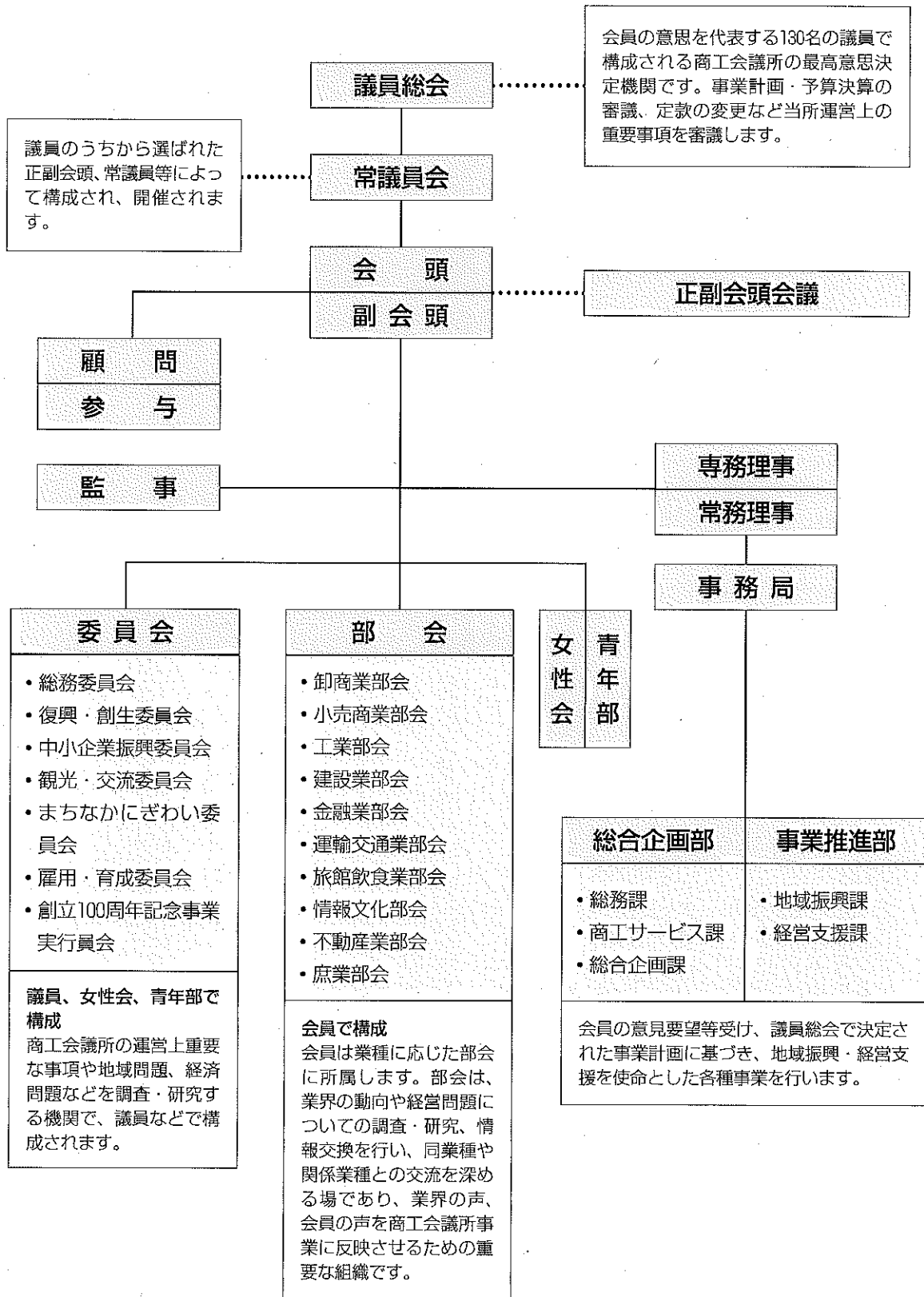
— **担当委員会** ◇雇用・育成委員会



副会頭 **坪井 大雄**  
福島貸切辰巳屋自動車㈱ 代表取締役社長

— **担当部会** ◆運輸交通業部会、旅館飲食業部会

— **担当委員会** ◇観光・交流委員会



# 1. 事業方針

---

## 1. 基本理念 足腰の強い「健都ふくしま」を目指して

## 2. 年間テーマ ふるさとの元気を支えて1世紀

～おかげさまで 平成29年 福島商工会議所創立100周年～

## 3. 事業方針

### (1) 創立100周年記念事業の実施

福島商工会議所は、今年で創立100周年という大きな節目の年を迎える。これまでの百年に思いを馳せるとともに、これからの百年を見据え、～ふるさとの元気を支えて1世紀。～をキャッチフレーズに掲げ、「地域と会員事業所の足腰を強く丈夫に！」のコンセプトに基づき、記念式典をはじめとする各種記念事業を実施する。

### (2) ふくしま将来ビジョン～足腰の強い「健都ふくしま」を目指して～の実現

福島市が復興・再生を果たし、将来に希望の持てるまちづくりを実現していくため、市民、企業、地域社会が元気で健康であることと、人口減少社会の中で広域連携を推進していく観点から、福島市の将来像を～足腰の強い「健都ふくしま」～と位置づけ、展開すべき施策を体系的に整理し、「ふくしま将来ビジョン」として取りまとめた。

今年度は、このビジョンを具体的に推進していくため、部会、委員会でそれぞれの担当分野についてアクションプランを策定し、商工会議所全体でその実現に取り組む。

### (3) 個社支援の強化

震災以降、有事にさらされている会員事業所並びに後継者問題を抱えている小規模事業者の経営支援を最優先課題として体制の整備を図っていく。

### (4) 組織、財政基盤の強化

会員数と組織率は、商工会議所活動に対する市内商工業者の支持のパロメータであり、3年前から組織率40%、会員数4,000事業所を目指して、議員、女性会、青年部及び事務局を挙げて会員募集キャンペーンを展開してきた。引き続き、組織、財政基盤の強化のために活動を継続していくとともに、会員事業所が商工会議所の事業に参画し、メリットを感じられる運営に努める。





## 4. 主な事業

### (1) 創立100周年記念事業

記念事業として、創立記念日（7月28日）の記念講演会・会員交流ビアパーティーをはじめ、9月13日の記念式典・祝賀会など下記の事業を実施する。

▶ 記念式典・祝賀会の実施

（平成29年9月13日（水） 於：ウエディング エルティ）

▶ 記念講演会・会員交流ビアパーティーの実施

（平成29年7月28日（金） 創立記念日 於：サンパレス福島）

#### [創立100周年記念事業一覧]

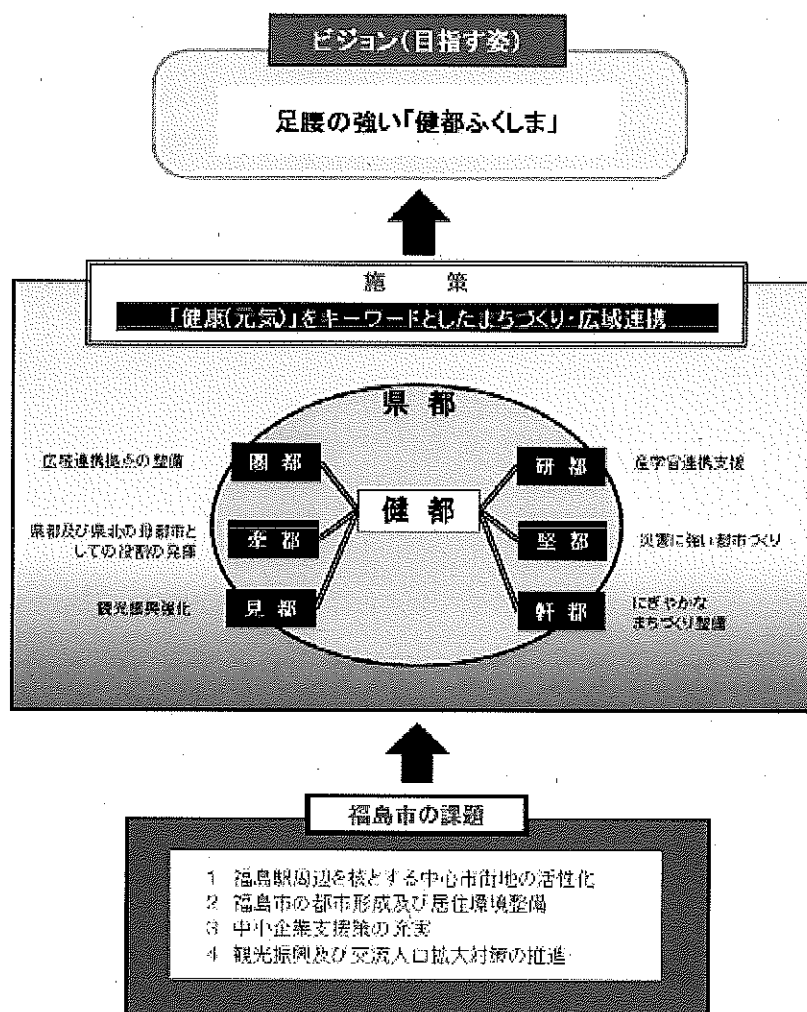
テ ー マ		事 業 名
みんなで祝う		記念式典・祝賀会 記念講演会・会員交流ビアパーティー
みんなの足腰を強くする		ふるさと元気支援補助事業 大わらじ展示 2017ランチで食うボン（秋） 4000会員堅持のための新たな会員増強運動 スポーツ（ゴルフ大会） その他関連事業
みんなでまちを 元気にする	みんなの知恵を 集める	ふくしま将来ビジョン ～足腰の強い「健都ふくしま」を目指して～ 小学生作文募集「20年後のふくしまとわたし」 子供たち職場体験事業
	みんなでにぎわう	福島わらじまつり ふくしま山車祭り 女性会・青年部による創立100周年記念事業 各種イベント等
みんなの記憶に留める		タイムカプセル事業 DVD・記念誌作成 記念バッジ 各種広報 【例：新聞特集号など】

(2) ふくしま将来ビジョンに基づくアクションプランの策定と推進

ビジョンに位置づけられた課題に対する各種施策について、部会、委員会においてアクションプランを策定するとともに、早期に対応すべきものについては具体的な行動に移していく。

- ▶ 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化
- ▶ 福島市の都市形成及び居住環境整備
- ▶ 中小企業支援策の充実
- ▶ 観光振興及び交流人口拡大対策の推進

[ふくしま将来ビジョン概念図]



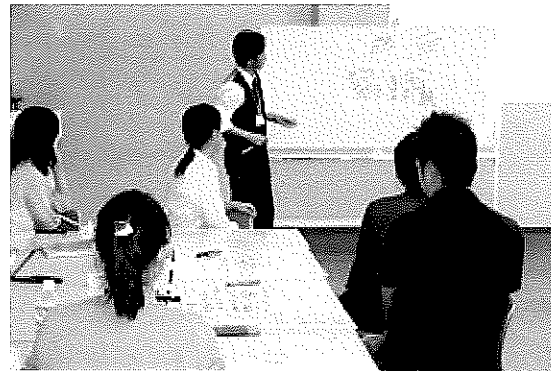


(3) 個社支援の強化

- ▶ 経営発達支援計画による伴走型個社支援の強化
- ▶ 会員実態調査で明らかになった、事業承継、後継者対策、人手不足、販路開拓などの経営課題への対応
- ▶ ふるさと元気支援事業による新規創業・新分野進出（第二創業）への支援
- ▶ 医療福祉・再生可能エネルギー・ロボット産業分野への参入支援
- ▶ 健康経営の推進



〈決算・確定申告での寄り添った指導〉

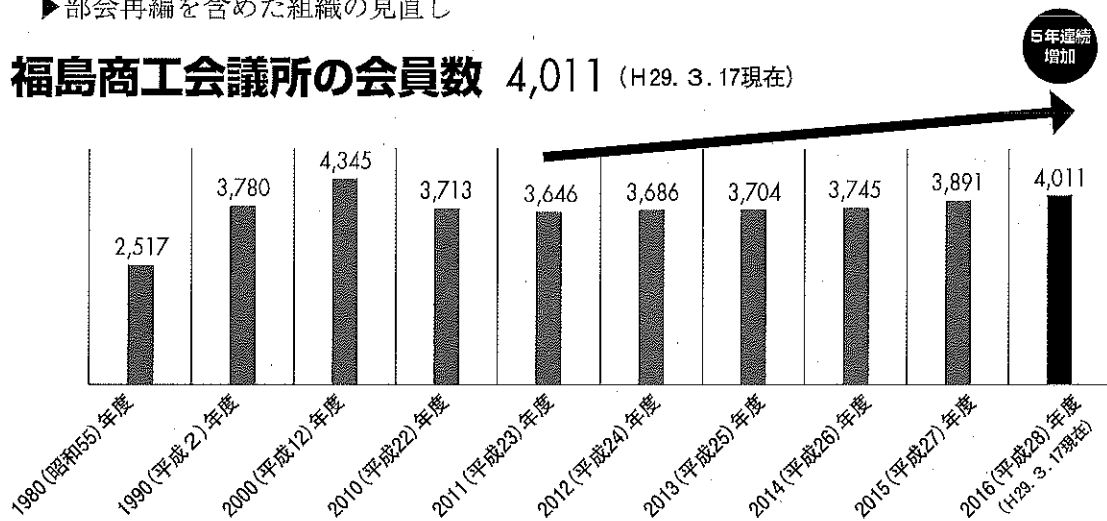


〈創業スクールでのワークショップ〉

(4) 組織、財政基盤の強化

- ▶ 4000会員堅持のための新たな会員増強運動の実施
- ▶ 共済制度の募集拡大
- ▶ 部会再編を含めた組織の見直し

福島商工会議所の会員数 4,011 (H29. 3. 17現在)



## 2. 施策体系

### 施策Ⅰ 活力ある福島の創造（地域経済の活性化）



写真：第47回福島わらじまつり（平成28年8月5日～6日）

### 施策Ⅱ 会員事業所の発展（企業の安定・成長）



写真：商売繁盛塾（平成29年2月20日）



### 施策Ⅲ 魅力ある商工会議所（商工会議所の活性化）



写真：正副会頭・部会長会議（平成29年1月25日）

ふるさとの元気を支えて1世紀。

平成29年・  
**100<sup>th</sup>**  
Anniversary

おかげさまで 平成29年 創立100周年  
**福島商工会議所**

第2部 施策体系と事業 2. 施策体系

(1) 施策 I 活力ある福島創造 (地域経済の活性化)

★ I-A 創立100周年記念事業の推進 **重点**

- 1 記念式典・祝賀会の実施
- 2 講演会・会員交流ビアパーティーの実施
- 3 ふるさと元気支援事業による新規創業等への支援
- 4 大わらじ展示による福島の魅力発信
- 5 スポーツ (ゴルフ大会) による会員交流
- 6 小学生作文募集事業「20年後のふくしまとわたし」の実施
- 7 子どもたち職場体験事業の実施
- 8 タイムカプセル事業の実施
- 9 DVD・記念誌の作成
- 10 冠・関連事業の推進

★ I-B ふくしま将来ビジョンの推進 **重点**

- 1 ビジョン実現に向けたアクションプランの策定と推進
- 2 アクションプランに基づいた具体的事業の展開
- 3 福島市をはじめとする関係機関への提言並びに要望活動の実施
- 4 会員をはじめ関係機関等への周知

I-C 政策提言・要望活動の推進

- 1 商工会議所ネットワークの活用・強化による提言能力・実現力の向上
  - (1) 部会・委員会による地域課題の調査・研究
  - (2) 日本商工会議所、東北六県商工会議所連合会、福島県商工会議所連合会との連携
  - (3) 各種経済団体・業界団体・大学等との政策課題の調査・研究
- 2 政策提言・要望活動の実施
  - ☆ (1) 中核市 (※1) 及び連携中核都市圏 (※2) の推進に関する要望
  - (2) 復興のための幹線道路の整備促進及び建設促進に関する要望
  - (3) 観光振興及び交流人口拡大に関する意見・要望活動の実施
  - (4) 景気対策及び中小企業対策等に関する要望
  - (5) 原子力災害に関する要望

I-D 中心市街地の活性化

- 1 中心市街地活性化の推進 **重点**
  - (1) 福島市中心市街地活性化協議会の運営と第2期基本計画の推進
- ★ (2) 福島駅周辺を核とする活性化の検討 **重点**
  - ① シンボルストリートを形成する駅前通りリニューアル事業の推進
  - ★ ② 中合2番館の営業終了に伴うテナント対策等に対する支援
  - ③ 大原綜合病院の移転リニューアルに伴う県庁通り等周辺商店街の整備推進 [開院：H30. 1]
  - ④ 老朽化した公共施設の再配置と西口にぎわい交流拠点施設・福島駅新東西自由通路の検討
  - ⑤ 福島県立医科大学新学部の駅前通り栄町地区設置に関する支援 [開学：H33. 4]
  - ⑥ 福島駅東口地区の再整備の研究
  - ⑦ 街なか広場の利活用の推進
- (3) 中心市街地各種プロジェクトの推進
- (4) ㈱福島まちづくりセンターとの連携

2 にぎわい創出の推進

- (1) 福島駅前元気プロジェクト (春・夏・秋・冬) 等のにぎわい創出イベントの展開 **重点**
- (2) 商店街等の各種行事・イベントへの支援・協力 (「まちなかイルミネーション事業」、「きて！みて！呑んでラリー」等)
- (3) 関係団体との情報・意見交換

3 公共交通とまちづくりの研究

- (1) 高齢者、交通弱者への対応と新たな公共交通のあり方の検討

★ 4 都心居住の推進 (日本版 CCRC (※3) 等の研究)

5 まちなか情報の発信

- (1) ホームページによる「まちなかイベントカレンダー」等情報発信の強化 (「新しい風ふくしま懇談会」との連携)
- ★ (2) まちなかイベントの相互PRの推進

I-E 広域連携の推進

- 1 東北中央自動車道等を活用した広域連携によるまちづくり及び観光の推進 **重点**
  - (1) 東北中央自動車道を活用した広域連携
    - ① 相馬～福島～米沢間の広域連携事業の促進
    - ② 福島大笹生 IC 周辺の道の駅・工業団地の土地利用の促進
  - (2) 福島・相馬・米沢の地域連携の推進による観光振興及び経済交流

# 足腰の強い「健都ふくしま」を目指して ～ふるさとの元気を支えて1世紀～



[凡例] ★新規事業 ☆リニューアル事業

- ★ ① 相馬・米沢方面からの誘致策の検討
- ② 東北中央自動車道（相馬～福島～米沢間）の高速料金無料のPRと誘客についての研究
- ★ (3) 東北中央自動車道沿線における土地利用の見直しと医療関連産業集積についての研究
- 2 福島西道路の南北への延伸と福大・医大周辺の土地利用の促進 **重点**
- ★ 3 ハザードマップに対応した新たな基幹道路の検討

## I-F 観光振興と交流人口拡大の推進

- ★ 1 『福が満開、福のしま。』ふくしま秋・冬観光キャンペーン』の推進 **重点**
- 2 「花のまちふくしま」による誘客事業の実施
  - (1) 「ふくしま花のまちフェスティバル2017」の実施
- ★ (2) 花時計のリニューアル整備に関する支援（女性会）
- 3 地域資源を活用した観光素材等の情報発信による誘客の推進
  - (1) 花見山、温泉、信夫山等を活用した観光開発の促進
  - (2) 県外・海外での観光PRへの支援・協力
  - (3) ふくしま地域ポータルサイト「ももりんく」の運営支援
- ☆ 4 福島市名誉市民古関裕而氏に関連した各種事業の推進 **重点**
- ★ (1) 古関裕而・金子夫妻の朝ドラ放映実現に向けた署名活動の展開
- (2) 「古関裕而音楽フェス♪」（青年部）への支援協力
- 5 事業所における「おもてなし」サービスの向上や新商品開発に対する支援
- 6 観光振興のための連携の推進 **重点**
- ★ (1) 仙台空港を活用した南東北3県にまたがる広域的な観光商品の検討
- (2) 周辺市町村と連携した広域観光の推進
- (3) 日本版DMO（※4）に関する調査・研究
- (4) 観光関係団体（福島市観光コンベンション協会等）との連携強化
- 7 交流人口拡大に向けたスポーツイベントへの支援・協力
  - (1) 福島ユナイテッドFCへの支援（サポーターズクラブ加入促進等） **重点**
  - (2) 「ふくしま吾妻荒川・花見山ツアーマーチ」、「あづま荒川クロスカントリー大会」の運営支援
- 8 国際交流及びインバウンド推進 **重点**
- (1) 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた誘客事業の調査・研究
- ★ (2) スイス連邦のホストタウンとしての交流の促進

- (3) インバウンド推進のための各種事業の検討
- (4) ふくしま台湾友好協会の交流の促進

## I-G 地域の祭り・伝統文化の興隆

- 1 福島わらじまつりの興隆 **重点**
- (1) 「第48回福島わらじまつり」の開催  
[8月4日(金)、5日(土)]
- (2) 「東北絆まつり」（旧：東北六魂祭）への参加  
[6月10日(土)、11日(日) 仙台市内]
- (3) 県内外におけるPR活動の推進
- 2 「第38回ふくしま花火大会」の実施協力  
[7月29日(土)]
- ☆ 3 「ふくしま山車祭り～県北の山車集結～」(旧：山車フェスタ)の実施協力 [6月3日(土)]
- 4 「信夫三山眺まいり」に対する支援・協力
- 5 踊り屋台の活動支援

## I-H 消費拡大の推進

- 1 飲食店ガイド・パンフレット等活用による消費拡大の推進
  - (1) 「2017ようこそふくしま・うまいもの店&湯けむり紀行宿泊ナビ」の作成・配布
  - (2) 優待食事券事業「2017ランチで食うボン（春）」の実施
  - ★ (3) 優待食事券事業「2017ランチで食うボン（秋）」の実施
- 2 物産の振興による消費拡大の推進

※1 中核市：人口規模や行政能力などが比較的大きい都市の権限を強化し、より住民の身近なところで行政を行うことを目的として創設された都市制度。保育所や養護老人ホームの設置認可・監督、保健所設置等の権限が移譲され、より細かな市民サービスの提供や行政サービスの効率化・迅速化、総合的な保健衛生サービスの提供等が期待される。

※2 連携中核都市圏：地域で相当の規模と中核性を備える圏域の市町村が連携することでコンパクト化とネットワーク化を図り、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成すること。

※3 日本版 CCRC：高齢者が地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくりを目指す。高齢者が積極的に就労や社会活動に参加することによる活性化や、医療介護サービスの活用による雇用の維持が図られるなど、地域へのメリットも大きい。

※4 日本版 DMO：官民協働で市場調査などの手法を用い、経営的な視点から「観光地域づくり」を進める法人。福島市では（一社）福島市観光コンベンション協会が候補法人に登録。

第2部 施策体系と事業 2. 施策体系

(2) 施策Ⅱ 会員事業所の発展（企業の安定・成長）①

Ⅱ-A 小規模事業者の伴走型支援の推進	
1 小規模支援法に基づく経営発達支援計画による伴走型個社支援の強化	<b>重点</b>
2 ふるさと元気支援事業の推進（新規創業・新分野進出への補助支援）	<b>重点</b>
3 連携による中小企業振興の推進	
☆ (1) 福島市中小企業振興プログラムに基づく施策の推進	
☆ (2) オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会による個社の復興再生に向けた自立支援の推進	

Ⅱ-B 相談支援体制の充実・強化	
1 金融に関すること	
(1) 小規模事業者経営改善資金融資制度（マル経融資）の利用促進	
(2) 小規模事業者経営発達支援融資事業の利用促進	
(3) 会員向け特別融資制度（メンバーズローン）の利用促進	
(4) 各種制度資金（国・県・市等）の利用促進	
(5) 金融相談会の開催	
2 税務・経理に関すること	
(1) 記帳、決算指導及び確定申告に関する支援	
(2) 記帳の電子化に関する支援（ブルーリターンA等）	
(3) 消費税申告に関する支援	
3 消費税に関すること	
(1) 消費税転嫁対策窓口相談事業の実施	
① 個別経営なんでも相談会の開催	
② 消費税転嫁対策セミナーの開催	
(2) 消費税軽減税率導入に関する相談事業の実施	
4 労務に関すること	
5 原子力損害賠償に関すること	
6 産学官連携の推進	
7 専門家による指導体制の充実	

(1) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業
(2) 嘱託専門職員（専門指導センター）の活用
(3) 専門家（中小企業診断士等）の個別企業への派遣指導
(4) 弁護士、社会保険労務士等による個別相談の実施
(5) 国際ビジネスアドバイザーによる貿易相談の実施
8 事業継続に関する支援
(1) BCP 策定に関する支援
(2) 倒産防止共済制度の普及促進
(3) 中小企業 PL 保険制度の普及促進
(4) 個人情報漏えい賠償責任保険制度の普及促進
(5) 業務災害補償プランの普及促進
(6) 休業補償プランの普及促進

Ⅱ-C 経営革新の推進	
1 経営革新等支援機関としての経営革新支援の充実・強化	
(1) 経営革新計画策定及び認定に関する支援	
(2) 経営革新に関する個別相談会の開催	

Ⅱ-D ビジネス拡大の推進	
1 小規模事業者の販路拡大支援（補助金活用による経営安定化の推進）	<b>重点</b>
2 医療福祉分野、再生可能エネルギー分野、ロボット産業分野への参入支援	
3 医産連携推進事業の充実	<b>重点</b>
(1) 福島市医産連携研究会の推進	
(2) 福島県立医科大学と中小企業のマッチング及び医療機器メーカーと中小企業のマッチング支援	
4 産学官連携の推進	
★ (1) 東北中央自動車道を活かした米沢市・相馬市の事業所や山形大学工学部等との連携の推進	
★ (2) 福島大学の新たな農学系教育研究組織と連携した6次化の検討	





【凡例】 ★新規事業 ☆リニューアル事業

- (3) 福島県立医科大学「ふくしま国際医療科学センター」と地元企業との連携に関する研究

#### 5 ビジネスチャンスの提供

- (1) 会員交流会・商談会の開催  
 (2) ICTの利活用の推進（ザ・ビジネスモールの登録促進等）  
 (3) DM配送サービス（企業情報宅配便）による取引拡大支援  
 (4) 商取引の照会・斡旋

#### 6 優良会員事業所表彰制度による会員企業の顕彰

### II-E 事業再生・事業承継の支援

#### 1 事業再生に関すること

- (1) 経営安定特別相談事業による倒産防止相談の実施  
 (2) 事業転換に関する支援

#### 2 事業承継に関すること

**重点**

- (1) 事業承継のマッチングに関する支援  
 (2) 事業承継に関する個別相談の実施  
 (3) 福島県事業引継支援センターとの連携

### II-F 創業の推進

**重点**

#### 1 創業スクールの実施

#### 2 創業に関する個別相談の充実

- (1) ビジネスプラン作成の支援  
 (2) 開業資金の調達に関する支援

### II-G 人材育成事業の推進

#### 1 人材育成・経営課題に関するセミナーの実施

**重点**

- (1) 商売繁盛塾の開催  
 (2) 経営課題別セミナーの開催

- (3) 組織階層別セミナーの開催（新入社員、中堅社員、営業社員等）

- (4) 製造企業の技術力向上に関するセミナーの開催（県北技塾）

#### 2 各種検定試験による商工技能の向上

- (1) 検定試験受験に関する企業等へのPR強化

- (2) 各種検定試験の実施

- ① 簿記検定（企業会計知識の習得）  
 ② 販売士検定及び販売士資格更新講習会（消費者の「買いたい」をつくる力の習得）  
 ③ 珠算検定（記憶力及び情報処理力の習得）  
 ④ PC検定（パソコンを駆使した効果的・効率的な業務遂行力の習得）  
 ⑤ 福祉住環境コーディネーター検定（医療×福祉×建築の総合力の習得）  
 ⑥ ビジネス実務法務検定試験（ビジネス上の基本法律知識の習得）  
 ⑦ カラーコーディネーター検定（色彩効果の活用力の習得）  
 ⑧ 環境社会検定（eco検定）（ビジネスと環境の相関説明力の習得）  
 ⑨ ビジネスマネージャー検定（マネジメントの基礎知識の習得）

第2部 施策体系と事業 2. 施策体系

(2) 施策Ⅱ 会員事業所の発展（企業の安定・成長） ②

Ⅱ-H 雇用対策事業の推進

1 若者の雇用及び地元定着に関すること

**重点**

- (1) 高等学校との連携による意見交換会、教諭向け企業見学会等の開催
- (2) 大学が中心となって実施する「COC + 事業」(※5)への協力
- (3) 県外から福島へのU・I・Jターンについての研究

2 女性の活躍推進に関すること

**重点**

- (1) 女性の職域拡大や育児・介護と仕事の両立についての先進的な取り組み事例の研究
- (2) 女性活躍推進法を始めとする国及び地方自治体の女性活躍推進施策についての研究

3 健康経営<sup>⑥</sup>(※6)の推進

**重点**

4 会員事業所従業員の婚活事業の推進

5 雇用及び人材育成の施策・事業に関すること

- (1) 雇用関連施策・助成金の周知方法についての検討
- (2) 市内外企業の人材育成事例についての研究

6 雇用創出事業の推進

- (1) ジョブ・カード制度推進事業の実施
- (2) 福島市雇用促進サポート事業の実施(大学生等のインターンシップを含む)

7 雇用環境の整備に関すること

- (1) 高年齢者雇用安定法に関する調査・研究
- (2) ワークライフバランスの調査・研究

Ⅱ-I 各種調査・情報提供

1 登録・申請・検査業務の実施

- (1) 公害健康被害補償業務の徴収業務の実施
- (2) 容器包装リサイクル業務の実施
- (3) GS 1コード(JANメーカーコード)の登録受付業務の実施
- (4) 原産地証明の発行
- (5) 加工食品の放射性物質測定

- (6) 放射線測定器の貸出

2 地域経済に関する各種調査の実施

- (1) LOBO(早期景況観測)調査
- (2) 年末年始商戦アンケート調査
- (3) 中小企業景況調査

Ⅱ-J 業種別振興事業の推進

1 卸売業に関すること

- (1) 卸売業の経営力強化(勉強会・視察研修会)
- (2) 東北中央自動車道を活かした米沢市等の事業所との交流
- (3) 東北中央自動車道開通に向けた広域連携事業の検討
- (4) 小売商業部会等との連携

2 小売業に関すること

- (1) 個店の魅力向上支援と消費拡大策の検討
- (2) 防犯防災の都市づくり対策推進
- (3) 卸売業および物流業との連携推進
- (4) 広域連携事業の開催

3 工業に関すること

- (1) 工業部会の地域内連携と意識の強化
- (2) 足腰の強いふくしまの地域活性化を目指した産学官連携の推進
- (3) 県内外商工会議所工業部会との交流の推進
- (4) 製造業支援施策等の情報提供

- (5) 人材育成事業の実施「県北技塾」の実施

4 建設業に関すること

- (1) 建設業の支援強化(講演会、人材育成・確保、要望等)
- (2) 東北中央自動車道、福島西道路沿線における土地利用に関する調査・研究
- (3) 東北中央自動車道福島大笹生IC周辺整備の動きに関する情報の収集



(4) 建設業に関する新たな取組みやまちづくり等の先進的な取組みへの視察
<b>5 金融業に関すること</b>
(1) 福島復興・再生に資する新産業育成に向けた調査・研究
(2) 中小企業支援事業の円滑な実施に向けた金融機関との連携強化
(3) 経済・金融及び地域動向に関連する講演会の開催
<b>6 運輸交通業に関すること</b>
(1) 公共交通のあり方についての研究
(2) 福島市の都市形成についての研究
(3) 運輸業界の経営課題についての研究
<b>7 旅館飲食業に関すること</b>
(1) 観光振興策の強化
(2) 個店の魅力向上のための各種講演会・セミナーの開催
(3) 地域飲食店の繁盛支援
<b>8 通信サービス業（情報文化）に関すること</b>
(1) 福島市の復興・再生に向けた ICT 活用や情報発信等に関する研究及び提言
(2) ICT を活用したまちづくり等の先進事例視察会の開催
(3) 情報通信サービスに関するセミナー等の開催
(4) 福島市の情報発信に関する支援・協力
<b>9 不動産業に関すること</b>
(1) 福島市の居住環境の整備に関する研究
(2) 福島市の都市形成に関する研究
(3) 「日本版 CCRC」等をテーマとしたまちづくり先進地の視察
<b>10 庶業に関すること</b>
(1) 継続的な観光振興強化策による交流人口拡大に関する研究
(2) 広域連携による交流人口拡大に関する視察会の実施
(3) スポーツ振興に関する支援活動（福島ユナイテッド FC 応援ツアー）

## II-K 福利厚生 の 充実

### 1 会員事業所の福利厚生と事業リスク対策の充実

- (1) 新生命共済制度の PR 及び普及・拡大 **重点**
- (2) 特定退職金制度の普及・拡大
- (3) 小規模企業共済制度の普及・拡大
- (4) 共済加入者還元事業の実施
- (5) 共済制度加入者懇談会の開催

### 2 会員事業所従業員の健康増進と疾病リスク対策の推進

- (1) 生活習慣病健診の実施

### 3 会員事業所従業員の永年勤続表彰事業の実施

※5 COC + 事業：地方創生の一環として、県内の大学・短大が地元就職への機会を増やすための取り組み。

※6 健康経営®：従業員の健康増進を重視し、健康管理を経営課題として捉え、その実践を図ることで従業員の健康の維持・増進と併せて会社の生産性向上を目指す経営手法。「健康経営」は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標。

第2部 施策体系と事業 2. 施策体系

(3) 施策Ⅲ 魅力ある商工会議所（商工会議所の活性化）

Ⅲ-A 商工会議所の運営強化	5 外郭団体との連携
1 運営強化のための会議等の充実	(1) 福島市商店街連合会
(1) 常議員会・議員懇話会の充実	(2) 福島市商店街連合会青年部
(2) 部長・委員長と正副会頭との意見交換会の開催	(3) 福島青色申告会連合会
(3) 女性会・青年部と正副会頭との意見交換会の開催	(4) 福島市青色申告会
(4) 福島市・福島市議会との意見交換会の開催	(5) 福島県珠算連盟
(5) 他地区商工会議所の視察及び懇談会の開催	(6) 福島珠算連盟
(6) 議員ゴルフ等の議員親睦事業の開催	(7) 福島わらじまつり実行委員会 福島夏まつり委員会
(7) 福島市新年市民交歓会の開催	(8) 福島エネルギー懇談会
2 商工会議所組織の活性化に関すること <b>重点</b>	(9) 東北経済連合会福島地域懇談会
(1) 部会・委員会活動及び各種会議の活性化に関する検討	(10) 福島県警察官友の会連合会
★ (2) 部会再編を含めた組織の見直しに関する検討	(11) 福島地区警察官友の会
★ (3) 会員優待サービス事業に関する検討	(12) 福島県自衛隊協力会連合会
3 女性会・青年部の運営支援と連携強化	(13) 福島市自衛隊協力会
(1) 福島商工会議所女性会の運営	(14) 福島県クリーンふくしま運動推進協議会県北地域協議会
(2) 福島県商工会議所女性会連合会の運営	(15) 福島リサイクル推進協議会
(3) 福島商工会議所青年部の運営	(16) ふくしま台湾友好協会（海外交流の推進）
(4) 各種事業への支援と連携強化	(17) 福島県商工3団体暴力団等排除対策協議会
4 福島県商工会議所連合会の運営	(18) 福島市にサッカースタジアムを作る会
(1) 各種会議の開催（会頭会議、総会、政策委員会、幹事会、事務局長会議、中小企業相談所長会議等）	★ (19) 古関裕而・金子夫妻 NHK 朝の連続テレビ小説実現協議会
(2) 要望・懇談の実施	
(3) 風評被害・風化対策事業の実施	
(4) 県内商工会議所職員研修の実施（経営指導員研修、補助員研修、一般職員研修）	



[凡例] ★新規事業 ☆リニューアル事業

### Ⅲ-B 運営基盤の強化

#### 1 組織・財政基盤の強化

**重点**

- ☆ (1) 4000会員堅持のための議員・職員による新たな会員増強運動に関する検討
- ★ (2) 財政安定化のための会費増口に関する検討
- (3) 共済制度及び各種補償制度加入促進のための検討

#### 2 会員事業所の巡回訪問

#### 3 未加入事業所に対する会員勧奨

### Ⅲ-C 事務局機能の強化

#### 1 事務局組織の見直しと強化

#### 2 職員の経営支援能力等の向上

#### 3 各種業務の見直し並びに改善の徹底

#### 4 法令遵守体制の強化・改善

#### 5 会議所規則等の見直し

### Ⅲ-D 情報収集力と発信力の強化

#### 1 情報戦略の構築

##### (1) 会員事業所への発信情報の研究・強化

##### (2) 未加入事業所と市民への発信情報の研究・強化

① 街かど情報ステーション・ホットボックスによる情報発信

② ももりんビジョンによる情報発信

##### (3) メディアへの発信情報の研究・強化

① マスコミとの意見交換会の開催

② ラジオによる情報発信

#### 2 所報 Fukushima の発行と充実

**重点**

#### 3 ホームページ及び ICT 環境の整備促進

**重点**

#### 4 オリジナルカレンダーの作成

#### 5 物産展示室における資料提供の拡充・強化

### 第3部 部会・委員会事業

## 1. 部会事業 (※正副部長については平成29年3月17日現在)

### 部会とは

- 「部会」は業種ごとの会員で構成される商工会議所の基盤組織です。
- 福島商工会議所では10の部会を設置しています。
- 部会ごとに会員及びその業種・業界の発展のための活動を行います。



平成29年度は福島商工会議所議員任期では第29期となります。(第29期：平成28年11月1日～平成31年10月31日)

### 1. 卸商業部会

担当副会頭：後藤 忠久

- 卸売業の経営力強化に関すること
  - 先進事業者に関する勉強会
  - 商業環境（物流・消費動向）に関する勉強会・視察研修会
- 卸売業の商業環境の向上に関すること
  - 東北中央自動車道を活かした米沢市等の事業所との交流
  - 東北中央自動車道開通に向けた広域連携事業の検討
  - 福島商工会議所小売商業部会等との連携
- 福島商工会議所創立100周年記念事業への協力  
創立100周年の各種記念事業に対する協力

#### 第29期 正副部長

部会長	(株)福島丸公
代表取締役会長	石本 朗
副部長	(株)近野
代表取締役社長	近野 輝雄
副部長	渋谷レックス(株)
代表取締役社長	渋谷 順子
副部長	福島リコピー販売(株)
代表取締役社長	蒲倉 達也
副部長	(株)マクサムコミュニケーションズ
代表取締役社長	右近 八郎



## 2. 小売商業部会

担当副会頭：後藤 忠久

1. 個店の魅力向上支援と消費拡大策の検討
  - (1) 個店の魅力向上に関するセミナーの開催および情報発信
  - (2) 商店街との連携による各種イベントへの協力および商店街におけるまちづくりに対する支援と情報提供
  - (3) 高齢者の買い物支援に関する情報収集提供
  - (4) プレミアムフライデーの推進による売上向上支援
  - (5) 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた案内標記とWi-Fi整備支援
  - (6) 共通商品券事業による地域活性化支援
2. 防犯防災の都市づくり対策推進
  - (1) 個店および商店街における防犯防災対策の検討と推進
  - (2) 安全対策に関する情報収集提供
3. 卸売業および物流業との連携推進
  - (1) 卸売業・物流業との連携による小売業界の活性化推進
4. 広域連携事業の開催
  - (1) 販路拡大のための近隣地区商店街、商業施設等の先進地視察会の開催
  - (2) 東北中央道開通に向けた米沢・相馬との交流事業の継続実施
  - (3) 少子高齢人口減少社会における商業のあり方に関する研究
5. 福島商工会議所創立100周年記念事業への協力

※関連する項目においては会議所の他の委員会・部会、行政、団体等と連携し事業を進める

### 第29期 正副部会長

部会長	(株)ダイユーエイト	専務取締役	三瓶 善明
副部会長	(株)いちい	代表取締役社長	伊藤 信弘
副部会長	(株)川瀬酒販	代表取締役	川瀬 成人
副部会長	(株)中合	代表取締役社長	黒崎 浩一
副部会長	福島市商店街連合会	会長	小河日出男

## 3. 工業部会

担当副会頭：菅野日出喜

1. 工業部会の地域内連携と意識の強化
 

当所工業部会員の出前工場見学（会員スピーチ、製品紹介等）を継続実施して、その現状と現場を知り、福島市の実態を把握して見識を深め、会員間の連携の推進を図る。
2. 足腰の強いふくしまの地域活性化を目指した産学官連携の推進
  - (1) 東北中央自動車道の開通に合わせて、山形大学工学部の産学官連携や研究内容などの現状や課題等を伺い、さらなる連携の推進を図る。
  - (2) 昨年度に続き、新産業創出拠点の研究機関や大学等を今年度も視察することにより、研究機関等との連携の可能性を模索する。
3. 県内外商工会議所工業部会との交流の推進
 

今年度福島市から米沢市まで開通し、さらには相馬市まで繋がる東北中央自動車道の利活用推進を含んだ米沢・相馬商工会議所工業部会や、会津大学を有する会津若松商工会議所工業部会等との交流の推進を図る。
4. 製造業支援施策等の情報提供
 

国、県、市等における産学官連携、新産業の創出、企業家の育成等の製造業支援施策について、県の産業創出担当部署や市の産業交流プラザ等との連携を図り、各種情報の収集及び提供を行う。
5. 人材育成事業「県北技塾」の実施
 

管内製造企業の個々の技術者等のレベルアップを図り、地域製造業者の底上げを図ることを目的として、人材育成事業である「県北技塾」を開催する。
6. 福島商工会議所創立100周年記念事業への協力

※事業の実施に当たっては、他委員会や部会等との連携を図りながら取り組んでいくものとする。

### 第29期 正副部会長

部会長	加藤鉄工(株)	代表取締役社長	加藤 利夫
副部会長	アサヒ通信(株)	代表取締役会長	菅野 國延
副部会長	協三工業(株)	代表取締役	加藤 守
副部会長	サンヨー缶詰(株)	代表取締役社長	三枝 通昇
副部会長	福島製鋼(株)	代表取締役社長	三田 進
副部会長	(株)福島製作所	相談役	藤原 英男
副部会長	(株)山川印刷所	専務取締役	山川 彬
副部会長	ワイチーエル(株)	取締役会長	山岸 則紀

## 4. 建設業部会

担当副会頭：菅野日出喜

### 1. 建設業の支援強化に向けた取り組み

#### (1) 建設業支援のための講演会の開催

日 時：平成29年4月6日(木) 14:00~16:00

場 所：コラッセふくしま 4階 多目的ホール

内 容：演題「地方創生と地域建設業の未来」

講師 慶應義塾大学 特任教授

日本学術会議 会員 米田 雅子 氏

#### (2) 人材育成・確保に向けた取組や省力化に向けた取組等 今後の建設業の課題についての検討

#### (3) 各種要望活動の実施

#### (4) 各種企業支援に関する情報提供

### 2. 福島地域開発に関する検討

#### (1) 東北中央自動車道、福島西道路沿線における土地利用 に関する調査・研究

#### (2) 東北中央自動車道福島大笹生 IC 周辺整備の動きに関 する情報の収集

#### (3) その他福島地域開発に関する情報の収集

### 3. 先進地視察会の実施

建設業に関する新たな取り組みやまちづくり等の先進的  
な取り組みへの視察

### 4. 福島商工会議所創立100周年記念事業への協力

※関連する事業においては、他の部会・委員会並びに関連団  
体との連携を図って実施する。

### 第29期 正副部長

部 会 長	東信建設(株)	代表取締役	佐久間政文
副部長	入三機材(株)	代表取締役	上西 皓愼
副部長	大槻電設工業(株)	代表取締役	大槻 博太
副部長	(株)杜設計	代表取締役	鈴木 宏幸
副部長	日東物産(株)	代表取締役会長	大橋 廣治
副部長	コボックス(株)	代表取締役	小林 仁一
副部長	小林土木(株)	代表取締役	小林 健夫
副部長	(株)大丸工務店	代表取締役	大和田知昭
副部長	福島ネオ工業(株)	代表取締役	吉川 昭
副部長	文化設備工業(株)	代表取締役	川津 博彰

## 5. 金融業部会

担当副会頭：菅野日出喜

### 1. 福島復興・再生に資する新産業育成に向けた調査・研究

福島復興・再生を加速化するためには、福島県が推進  
する新産業の育成・産業集積が必要不可欠である。

新産業の育成に向けた調査・研究を引き続き行う。

#### (1) 新産業創出拠点の視察・研究（他部会とも連携して実施）

#### (2) 行政並びに関係機関等からの情報収集及び提供

### 2. 中小企業支援事業の円滑な実施に向けた金融機関との連 携強化

当所では、中小企業・小規模事業者の持続的な発展に資  
することを目的とした「経営発達支援計画」の認定を国に  
申請中である。

計画の円滑で実効性の高い実施に向け、下記事項につい  
て金融機関等との連携を強化し取り組んでいく。

#### (1) 事業承継の重要性を周知することを目的に、全会員を対象とした「事業承継セミナー」の開催

#### (2) 創業や新事業分野進出支援における金融機関等との連携協力

（創業スクール、ふるさと元気支援補助金等の実施支援）

#### (3) 経営意欲及び地域経済の活性化を高める、「優良会員事業者表彰制度」への支援・協力

### 3. 福島商工会議所創立100周年記念事業への協力

### 4. 経済・金融及び地域動向に関する講演会の開催

経済・金融・地域動向をはじめ、事業計画に記載した項目やタイムリーな情報に関する講演会の開催

### 第29期 正副部長

部 会 長	福島信用金庫	理事長	樋口 郁雄
副部長	(株)東邦銀行	専務取締役	佐藤 稔
副部長	(株)福島銀行	取締役社長	森川 英治





## 6. 運輸交通業部会

担当副会頭：坪井 大雄

1. 公共交通のあり方についての研究
  - (1) 高齢化社会の進展に伴う公共交通のあり方についての研究
  - (2) 公共交通を活用したまちづくりに関する研究並びに講演会等の開催
2. 福島市の都市形成についての研究
  - (1) 福島市の各種まちづくりに関する情報の提供
  - (2) 東北中央自動車道、福島西道路南伸、市内幹線道路に関する情報の提供
3. 運輸業界の抱える課題に関すること
  - (1) 業界の経営課題についての研究及び関係機関に対する要望
  - (3) 業界の抱える課題に関する講演会等の開催
4. 福島商工会議所創立100周年記念事業への協力

### 第29期 正副部会長

部会長	福島トヨタ自動車㈱
	代表取締役社長 佐藤 健介
副部会長	㈱日産サティオ福島
	取締役会長 金子 與人
副部会長	ネットトヨタ福島㈱
	代表取締役会長 大沼 健次
副部会長	福島交通㈱
	執行役員福島支社長 茅原 稔

※事業の実施に当たっては、各委員会・部会と連携を図りながら取り組んでいくこととする。

## 7. 旅館飲食業部会

担当副会頭：坪井 大雄

1. 観光振興策の強化
  - (1) 地域の食文化・食材を活用した着地型観光戦略への支援
  - (2) 事業所における「おもてなし」サービスの向上や新商品開発に関する研究
  - (3) インバウンドに関する研究（外国語表記やサービスの検討等）
2. 個店の魅力向上のための各種講習会・セミナーの開催
  - (1) 福島県の日本酒に関する講習会
  - (2) インバウンドへの対応に関するセミナーの検討
3. 地域飲食店の繁盛支援
  - (1) 『ようこそふくしま「うまいもの店」・「湯けむり紀行」』の作成による飲食店等PR活動の推進
  - (2) 当所「ランチで食うボン」事業への協力
  - (3) SNS等を活用した情報発信に関する研究
4. 関係機関等との連携の強化
  - (1) 福島市「ももりんカフェ」事業への協力
  - (2) 中心市街地活性化へ向けた「福島きて！みて！吞んでラリー」への協力
  - (3) 県・市観光部局、関係機関等との連携の強化および推進
5. 福島商工会議所創立100周年記念事業への協力

### 第29期 正副部会長

部会長	㈱ザ・ホテル大亀
	代表取締役社長 渡辺 豊
副部会長	福島飲食業組合
	組合長 菅野 裕輔
副部会長	福島社交飲食業組合
	組合長 鈴木 悦朗
副部会長	(有)吉川屋
	代表取締役 畠 隆章
副部会長	(有)シーリン
	代表取締役 日比野恒夫

※事業の実施に当たっては、各委員会・部会と連携を図りながら取り組んでいくこととする。

## 8. 情報文化部会

担当副会頭：後藤 忠久

### 1. 福島市の復興・再生に向けた ICT 活用や情報発信等に関する研究及び提言

- (1) 今後の福島市における健康・安心・防災・教育・観光など各種分野での取り組みをサポートする ICT の活用等を研究し、「ふくしま将来ビジョン」の具現化に向けたアクションプランの策定を行う。
- (2) 原発事故後の風評被害の払拭や風化の防止に向けて、福島市の現状を伝える情報発信のあり方について研究し、提言を行う。
- (3) ICT を活用したまちづくり等の先進的な事例について視察会を開催する。

### 2. 部会員スピーチの実施

情報関連事業者で構成される当部会の独自事業として、部会員が持つ業界、地域、文化、情報通信等に関する情報や地域問題、社会問題などの分野を問わない知見を共有する機会を設け、部会員相互の資質向上、理解と交流を図る。

### 3. 情報通信サービスに関するセミナー等の開催

情報通信分野における最新動向や具体的な課題に関するセミナーを開催する。

### 4. 福島商工会議所創立100周年記念事業への協力

平成29年度、福島商工会議所創立100周年に向けて行われる各種事業に対し、当部会として積極的に支援・協力をを行う。

### 5. 福島市の情報発信に関する支援・協力

福島市ポータルサイト「ももりんく」の運営に協力し、福島市の情報発信力の維持・向上を図る。

### 第29期 正副部会長

部会長	東日本電信電話(株)福島支店
支店長	山内 功
副部会長	朝日システム(株)
代表取締役	博多 義雄
副部会長	(株)インフォメーション・ネット
ワーク福島	
代表取締役社長	半澤 隆
副部会長	(株)テレビユー福島
代表取締役社長	信国 一郎
副部会長	福島テレビ(株)
代表取締役社長	森 洋一
副部会長	(株)福島民報社
常務取締役・編集主幹	芳見 弘一
副部会長	福島民友新聞(株)
代表取締役社長	五阿弥宏安
副部会長	(株)ラジオ福島
会長	本多純一郎



## 9. 不動産業部会

担当副会頭：和合アヤ子

1. 福島市の居住環境の整備に関する研究
  - (1) 若者、学生を含む都心居住促進の為の環境整備に関する研究と情報の提供
  - (2) 福島市の空き家対策に関する研究と情報の提供
2. 福島市の都市形成に関する研究
  - (1) 東北中央自動車道および福島西道路沿線等の周辺の土地利用のあり方の検討
  - (2) 市街化調整区域の見直しを含めた土地利用に関する研究
3. 視察の実施
 

「日本版 CCRC」等をテーマとして、まちづくりを進める先進地の視察
4. 会員事業所への情報の提供
  - (1) 部会員、会員、市民を対象とした不動産に関するセミナー等の開催
  - (2) 所報「ふくしま」に不動産関連情報「不動産ひとくちコラム」として掲載
5. 福島商工会議所創立100周年記念事業への協力

※事業の実施に当たっては、各委員会・部会と連携を図りながら取り組んでいくこととする。

### 第29期 正副部会長

部会長	日本通商(株)	
	代表取締役	藤田勝太郎
副部会長	東栄物産(株)	
	代表取締役	安部 宏
副部会長	(株)エスケーコーポレーション	
	会長	岡部 政美
副部会長	(有)菅野地所	
	代表取締役	加納 武志
副部会長	小松興商(株)	
	代表取締役	小松 富彦
副部会長	(株)北陽不動産鑑定事務所	
	代表取締役	金子 克之
副部会長	(株)芭蕉堂	
	代表取締役	斎藤 伸洋
副部会長	(株)丹治伊蔵商店	
	代表取締役	丹治 洋子

## 10. 庶業部会

担当副会頭：和合アヤ子

1. 継続的な観光振興強化策による交流人口の増加
  - (1) 既存観光資源（温泉、磐梯吾妻スカイライン、花見山、信夫山、福島競馬場等）の活用の推進に関する検討
  - (2) 事業所における「おもてなし」サービスの向上に関する研修会等の開催
2. 広域連携による交流人口拡大
  - ・広域連携に関する先進事例視察会の実施
3. スポーツ振興に関する支援活動
  - ・福島ユナイテッドFC 応援ツアーの開催（例：100周年記念試合等）
4. 福島商工会議所創立100周年記念事業への協力
  - ・創立100周年事業計画に関する協力と会員増強活動支援

※必要に応じ、他部会や委員会との連携を図りながら、事業を進めていくものとする。

### 第29期 正副部会長

部会長	こころネット(株)	
	代表取締役会長	菅野 松一
副部会長	キョウワプロテック(株)	
	代表取締役	吾妻 学
副部会長	(株)クリーンテック	
	相談役名誉会長	反後 堯雄
副部会長	日本中央競馬会福島競馬場	
	場長	勝見 浩二

### 第3部 部会・委員会事業

## 2. 委員会事業（※正副委員長については平成29年3月17日現在）

### 委員会とは

- 「委員会」は、福島全体の発展を目的とする商工会議所の基盤組織です。
- 地域の課題に対応するため、6つの委員会が設けられています。  
また、特別委員会として、創立100周年記念事業実行委員会を設置しています。
- 議員企業と女性会・青年部で構成され、それぞれの知見を活かしていきます。



平成29年度は福島商工会議所議員任期では第29期となります。（第29期：平成28年11月1日～平成31年10月31日）

### 1. 総務委員会

担当副会頭：菅野日出喜

創立100周年を迎え、福島商工会議所活動の活発化の推進のため、商工会議所としての基盤を強固とし、組織の活性化を図ることを目的に事業を実施していく。

#### 1. 商工会議所創立100周年記念事業の実施

- (1) 創立100周年記念式典・祝賀会及び講演会の実施
- (2) 創立100周年記念事業実行委員会との連携

#### 2. 商工会議所組織の活性化に関すること

- (1) 部会・委員会の活動及び各種会議の活性化に関する検討
- (2) 部会再編を含めた組織の見直しに関する検討
- (3) 会員優待サービス事業に関する検討

#### 3. 商工会議所の財政安定化に関すること

- (1) 4000会員堅持のための議員・職員による新たな会員増強運動に関する検討
- (2) 財政安定化のための会費増口に関する検討
- (3) 共済制度及び各種保障制度加入促進のための各種検討

#### 第29期 正副委員長

委員長	朝日システム(株)
代表取締役	博多 義雄
副委員長	西川サッシ販売(株)
代表取締役会長	西川 博美
副委員長	(株)日進堂印刷所
代表取締役社長	佐久間信幸



## 2. 復興・創生委員会

担当副会頭：後藤 忠久

メインテーマ「『ふくしま将来ビジョン』への対応」

### 1. アクションプランの取りまとめと進捗管理

各委員会・部会で策定したアクションプランの取りまとめを行い、その実現について関係団体等への提言や具体的な事業を検討するとともに、その進捗状況について連絡と調整を図る。

### 2. 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化の検討

- (1) 中心市街地東地区の振興
- (2) 西口のにぎわい拠点形成
- (3) 回遊動線の整備と公共施設の再配置
- (4) 若者のまちづくりへの参画
- (5) 高齢者・若い世代の都心居住の推進

### 3. 福島市の都市形成及び居住環境整備の検討

- (1) 県都としての情報発信力の強化並びに県北の母都市としての中核市機能・地域連携の強化
- (2) 東北中央自動車道、福島西道路延伸に伴う福大・県立医大周辺および大笹生 IC 周辺の土地利用の促進

### 4. 「若者（高校生・大学生）が考える福島市の将来」調査の実施

### 5. 福島商工会議所創立100周年記念事業への協力

### 第29期 正副委員長

委員長	（株）いちい
	代表取締役社長 伊藤 信弘
副委員長	コボックス(株)
	代表取締役 小林 仁一
副委員長	（株）第一印刷
	代表取締役社長 古川 幸治

### 3. 中小企業振興委員会

担当副会頭：菅野日出喜

#### 1. 中小企業の経営支援の強化及び新規創業・新分野進出に関する支援・協力

- (1) 改正小規模支援法に基づいた経営発達支援計画による会員事業所の経営支援
- (2) 福島県事業引継ぎ支援センター及び関係機関団体等と連携した事業承継・後継者問題等に関する支援・拡充
- (3) ふるさと元気支援補助金等による新規創業・第二創業の支援及び創業スクールを活用した支援の強化。

#### 第29期 正副委員長

委員長	大槻電設工業(株)	
	代表取締役	大槻 博太
副委員長	(株)大丸工務店	
	代表取締役	大和田知昭
副委員長	山正酸素(株)	
	代表取締役会長	佐藤 允昭

#### 2. 福島市中核市移行に関する研究

福島市が権限強化と市民サービスの向上を図るため、平成30年4月1日の移行を目指す中核市並びに、「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」及び「生活関連機能サービスの向上」を行うために、近隣の市町村と連携し実施する連携中核都市圏構想を活用した産業振興に関する研究

#### 3. 大学をはじめ企業や研究機関、行政等との産学官連携の推進

- (1) 平成31年4月に金谷川の既存キャンパス内に開設される農学系教育研究組織（農学類）と連携した6次化事業についての研究
- (2) 大学等をはじめとする研究機関との産学連携の推進
- (3) 研究機関や行政等との連携による新産業育成支援強化

#### 4. 優良会員事業所表彰制度の実施

新商品・新技術開発の促進、独自のサービス手法などにより著しい発展を遂げた事業所及び、省資源・省エネルギー化に積極的に取り組んでいる事業所、子育て世代の女性の社会進出や女性の積極的な登用などに貢献している事業所などを顕彰することにより、事業所の経営意欲を高め地域経済の活性化を図ることを目的に実施する。

[表彰の種類]

○経営革新賞    ○環境改善賞    ○地域貢献賞

#### 5. 連携による中小企業振興の推進及び情報提供

- (1) 福島市中小企業振興基本条例に関する支援・協力
- (2) オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会に対する支援・協力

#### 6. 福島商工会議所創立100周年記念事業への協力

※事業内容によっては、視察研修会を開催すると共に、他委員会や部会との連携を図りながら、事業を進めていくものとする。



## 4. 観光・交流委員会

担当副会頭：坪井 大雄

テーマ「観光振興及び交流人口拡大対策の推進」

### 1. 観光振興策の強化について

- (1) 既存観光資源の活用の推進
  - ・信夫山についての調査・研究
- (2) 春及び秋の観光シーズンに連動した優待食事券による交通媒体との連携及び市民向けクーポン券事業の実施
- (3) 「花のまちふくしま」による誘客事業の実施
- (4) ふくしま秋・冬観光キャンペーンへの支援・協力

### 2. インバウンドへの対応について

- (1) 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた誘客事業の推進
- (2) 東北観光推進機構等の海外ミッション事業への協力

### 3. 歴史、文化を活用したまちづくりについて

- ・福島市名誉市民「古閑裕而」氏に関連した各種事業の推進

### 4. 仙台国際空港や東北中央自動車道の活用等による広域連携の促進について

- (1) 相馬・米沢方面からの誘致策の検討  
(通行料金の無料化というメリットを有効活用したPR戦略)
- (2) 民間化した仙台空港や幹線道路網を活用した、南東北3県にまたがる広域的な観光商品の検討

### 5. 福島ユナイテッドFCへの支援・協力

- (1) J1・J2参入時に不可欠な大規模スタジアムの整備に向けた支援・協力
- (2) 地元根差したチーム作りに不可欠なサポーターづくりへの支援・協力

### 6. 視察会・講演会の開催

- (1) 信夫山に関する講演会、視察会の開催
- (2) 市内観光施設等の視察会の開催（古閑裕而記念館、じょーもびあ宮畑、他）
- (3) 仙台国際空港、相馬港、東北中央自動車道（相馬～福島～米沢）沿線の視察会の開催
- (4) 福島市観光振興計画に関する勉強会の開催

### 7. 福島商工会議所創立100周年記念事業への協力

### 8. 観光振興に関する各種情報提供

### 第29期 正副委員長

委員長	東日本旅客鉄道(株)福島駅 福島駅長	佐藤 豪一
副委員長	福島ツーリストサービス(株) 代表取締役	齋藤 修
副委員長	(有)吉川屋 代表取締役	島 隆章

## 5. まちなかにぎわい委員会

担当副会頭：後藤 忠久

### 平成29年度委員会事業の目的

福島市中心市街地のにぎわい創出を推進するため、行政・企業・団体・商店街が連携の強化を図り「地元から、地元の皆で街を元気に」することを目的とする。

### 1. 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化

#### (1) 中心市街地（東口・西口地区）の振興

- ① 福島駅前元気プロジェクト事業等、各種イベント事業の充実
- ② 中心市街地における各種ソフト事業の推進、及び情報発信
- ③ 福島駅から県庁通り（シンボルストリート）周辺地域の活性化の検討

#### (2) 若者のまちづくりへの参画

- ・市内の学生及び若者をまちづくり活動に取り組む仕掛けづくり

### 2. 観光振興及び交流人口拡大対策の推進

#### (1) 歴史、文化を活用したまちづくり

- ① 福島わらじまつりへの支援・協力
- ② ふくしま山車祭りへの支援・協力

#### (2) インバウンドへの対応

- ① 外国語によるサービスの提供・情報発信、及びまちなか案内の外国語標記の整備
- ② 官民連携での Wi-Fi 環境の拡充

### 3. 視察会・意見交換会の開催

- ① 祭り・商店街等の先進地視察会
- ② 市内イベント主催団体との意見交換会
- ③ 市内学生等との意見交換会

### 4. 福島商工会議所創立100周年記念事業への協力

※関連する項目においては会議所の他の委員会・部会、行政、団体等と連携し事業を進める

### 第29期 正副委員長

委員長	福島市商店街連合会
会長	小河日出男
副委員長	（株）中合
	代表取締役社長 黒崎 浩一
副委員長	（株）福島まちづくりセンター
	常務取締役 草野 健





## 6. 雇用・育成委員会

担当副会頭：和合アヤ子

### 1. 若者・女性の活躍に関すること

#### (1) 高等学校との連携による取組み

就職担当教諭と事業者との意見交換会、教諭向けの企業見学会を開催することにより、新規高卒者の地元採用の促進および早期離職の防止に資することとする。

#### (2) 大学等との連携による取組み

福島大学が中心となって実施する「COC + 事業」および福島県が実施する「Fターンインターンシップ事業」への協力を通じて、新規卒者の地元採用を促進するとともに、地域の中小企業のPRにつなげる。

#### (3) 若者・女性活躍のための施策および活躍事例の研究

国や地方自治体の若者・女性活躍推進施策についての研究を行うとともに広く会員事業所へ周知していく。また、育児・介護と仕事との両立、若者・女性の人材育成について、市内外企業の先進的な取り組み事例の研究を行うこととする。

### 2. 健康経営に関すること

#### (1) 健康経営に関する研究

従業員の健康管理を推進することが、企業の生産性・業績の向上につながっていくことになるため、従業員の健康管理を経営的視点から捉えて戦略的に実践する「健康経営」が昨今注目されている。当委員会では健康経営を実践することによるメリットや認証制度である「健康経営優良法人認証制度」の研究を行うとともに、広く会員事業所に周知していく。

#### (2) 健康経営拠点に関する検討

会員事業所が健康経営を実践する際に、健康づくりに関する情報と設備が整った施設を利用することができれば、より効果的に推進できるものと思われる。そこで、地域の病院・薬局、スポーツ施設や健康保険事業者等と連携し、そのような施設の実現可能性について検討を行う。

### 3. 働き方改革に関すること

一億総活躍社会の実現に向け、国においては「働き方改革実現会議」を設置しての議論が進んでいる。実現会議の構成員には日本商工会議所も含まれていることから、会議の動向について委員への情報提供を行う。

### 4. 福島商工会議所創立100周年記念事業への協力

※テーマによっては、他の部会・委員会と連携して事業を実施することとする

### 第29期 正副委員長

委員長	(株)東邦銀行 専務取締役	佐藤 稔
副委員長	(株)古保工務店 代表取締役	古保 猛
副委員長	日東物産(株) 代表取締役会長	大橋 廣治

## 7. 創立100周年記念事業実行委員会

### 1. 創立100周年記念事業の実施

#### (1) 記念式典・祝賀会の実施

(平成29年9月13日(木) 於：ウェディングエルティ)

#### (2) 記念講演会・会員交流ビアパーティーの実施

(平成29年7月28日(金) 創立記念日 於：サンパレス 福島)

#### (3) 各種記念事業の実施 (※P7参照)

### 2. 4000会員堅持のための新たな会員増強運動の実施

### 正副委員長

委員長	菅野建設(株) 代表取締役	菅野日出喜 (※総務委員会 担当副会頭)
副委員長	朝日システム(株) 代表取締役	博多 義雄 (総務委員会 委員長)